

# 和具



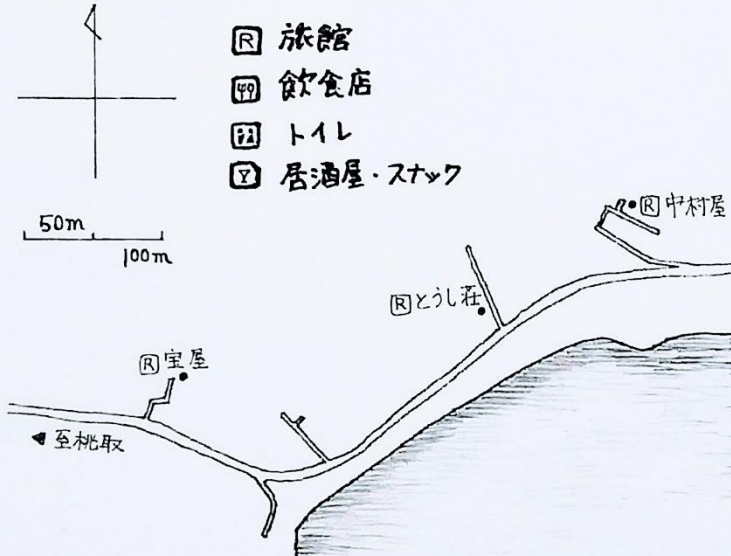
わかめとさわらの町

人口: 約400人

鳥羽から市営定期船で約20分

- ☐ 旅館
- ☐ 飲食店
- ☐ トイレ
- ☐ 居酒屋・スタック

50m  
100m



和具もしくは和具浦と呼ばれるこの地区では、わかめ養殖とさわらの一本釣りが盛んです。2~4月はわかめの収穫および加工(塩蔵わかめ)を行い、それ以外の時期はさわらの一本釣りを行います。特に脂がのった秋から冬にかけてのさわらは全身トロと言われるほど美味で、「答志島トロさわら」としてブランド化もされています。



©2019 Chikiro IGARASHI

# 長頸壺

ながくびつぼ

島には多くの古墳や貝塚があり、古くから裕展していたことがわかります。長頸壺は、古墳から出土された長頸壺は、7世紀頃に作られたとされ、造形の美しさと保存状態の良さから、国の重要文化財に指定されています。



東京国立博物館に保存されています!



九鬼嘉隆は16世紀に活躍した戦国武将で、鳥羽城の初代城主です。



# 九鬼嘉隆

Yoshitaka KUKI

非常に力のある水軍を率いて、織田信長および豊臣秀吉に仕え、朝鮮へも出兵しました。関ヶ原の戦いで組していた西軍が敗北すると、答志島へ落ち延び、そこで切腹しました。和具地区にはいくつかの史跡があり、嘉隆の血のついた刃を洗うと池の水が赤く染まると伝えられている血洗い池もその一つです。

<http://www.chikiro-toushi.net>

# しめ縄

一般的にお正月に飾られるしめ縄ですが、答志島を含む伊勢志摩地域では、一年中玄関に飾る風習があります。中央には神話に由来する「蘇民将来子孫家門」と書かれた札がついています。



## 答志島の基本データ

面積: 6.98km<sup>2</sup>  
人口: 2041人(2019年2月)  
半数以上が農業従事者

